



元気なこうかを創る！

資料 4

甲賀の國づくりプロジェクト会議

1. 目的

- 持続的な自治体経営において、最大の課題となる将来の急激な人口減少問題に対し、期間を限定した即効性のある施策を集中的に実施。
- 部局間の緊密な連携により施策に横串を入れ、迅速な意思決定と戦略的な事業展開を図り、部局横断施策の効果を最大限に発揮。

2. 組織

【本部会議】

- ◆本部長：副市長
- ◆副本部長：総合政策部長
- ◆本部員：部長会議メンバー
(各地域市民センター所長等除く)

【幹事会議】

- ◆幹事長：総合政策部次長（政策推進担当）
- ◆副幹事長：総務部次長（財政担当）
- ◆幹事：地域市民センター所長
健康福祉部次長（生活福祉担当）
建設部次長
教育委員会事務局次長（指導担当）
政策推進課長
- ◆協力：外部アドバイザー

【プロジェクトチーム】

- ◆課長級職員等をリーダーとした、中堅職員以下のPT

少子化
対策

定住
促進

女性の
活躍

2025年
問題

“選ばれる”
まちづくり

持続可能な
自治体経営

3. スケジュール

- H26.10月 プロジェクトチームの立ち上げ
- 11月 H27緊急提案⇒H27予算化
- H27.7月 人口減少に係る施策提言
- 10月 総合戦略へ反映
- H29.3月 総合計画（重点P）として包括

【主な検討内容（キーワード）】

1) 少子化対策

- 希望する人が希望する年齢で結婚でき、希望する数の子どもを産むことができる。
- こうかで1 male babyプロジェクト
(第1子、第2子、第3子ごとの施策)
★子育て情報発信、出会いの場の創出、水口文化ゾーン再編、三世代同居（近居）

2) 定住促進

- 「移・属・入」満足度NO.1のまちづくり
- 人口減少という現実を地域と共有する
- 持続可能な移住、定住施策の構築
★KOKAライフスタイル、田園生活体験しませんか？、空き家の活用支援

3) 女性の活躍

- 女性のライフステージに応じた切れ目のない支援
- 女性が働きやすい=男性も働きやすい
★将来の夢をつけようP.J（将来を逆算する考え方）、婿にきませんかP.J、仕事をつづけてもらおうP.J（資格取得支援）

4) 2025年問題

- 団塊の世代の地域での居場所づくり=健康寿命の延伸
- 地域の課題を生業（なりわい）・小商いに変える。
★地域包括ケアシステムの地域の理解、暮らしモール（空き公共施設の多重機能）、小さな拠点づくり（空き家活用生活支援）

5) “選ばれる”まちづくり

- 企業、市民に選ばれる新しい土地利用
- 甲賀市版コンパクトビレッジ、ダム機能
★貴生川駅周辺“生活感幸”特区、コミバス再編、放棄農地の活用とC.V移住促進

6) 持続可能な自治体経営

- 財源確保のための仕組みづくり、幸福度の追求（シンプルで満ち足りた生活）
- あるものを活かす！ないものはない！！
★公開公共施設評価、オープンデータ推進
SAを活用した甲賀野菜のブランド化

甲賀の國づくりプロジェクト プロジェクトチーム提言書(抜粋)

1. 少子化対策
2. 定住促進
3. 女性の活躍
4. 2025年問題
5. “選ばれる”まちづくり
6. 持続可能な自治体経営

こうかで 1 more baby プロジェクト

～こうのと「な」り さくせん～



甲賀の國づくりプロジェクト

少子化対策チーム

藤村・西田・山田・伴・藤野・森田・田村・折田

1. 現状と課題

晩婚化
非婚化

出生率の
低下

人口減少
の現実化

課題解決のテーマ

希望する人が希望する年齢で結婚でき、
希望する数の子どもを産むことができる

2. チームの考え方

第一子の
ためには...

- ・どのようにすれば第一子が
産まれやすいのか

第二子の
ためには...

- ・どのようにすれば第二子が
産まれやすいのか

第三子の
ためには...

- ・どのようにすれば第三子が
産まれやすいのか

2. チームの考え方

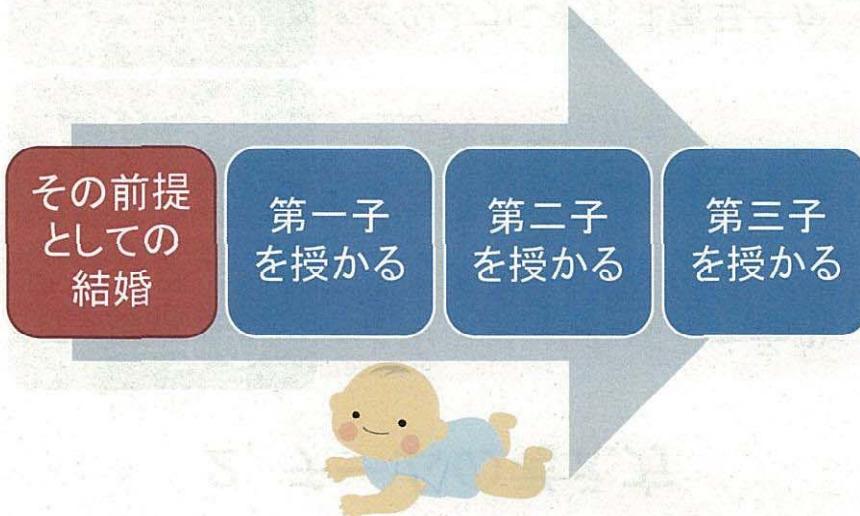
第一子
を授かる

第二子
を授かる

第三子
を授かる



2. チームの考え方



第一子を授かるためには...

子育ての不安を解消

- ・子育て情報がホームページや図書館で簡単に手に入る
- ・地域で支える育児への支援
- ・親のリフレッシュ・社会とつながっているという実感を

産む不安を解消

- ・産婦人科の整備、不妊症・不育症への支援

仕事との両立の不安を解消

- ・企業内での出産・育児への理解
- ・育休の取得と円滑な職場復帰 働きたい気持ちをかなえる



第一子を授かるためには...

結婚・子育てについての意識改革

- ・中学生や高校生、若手社会人世代に、結婚や子育てを含めたライフプランについて考える機会を。
- ・結婚よりもまだまだ仕事がしたい。収入が安定しなければ結婚できない？



出会いづくりから結婚へ

- ・結婚相談や婚活パーティもいいけれど、交流会で気軽な出会い。
- ・農業体験、歴史大好き、スポーツ交流、鉄道ファンなど、テーマごとにどの課でも出会いづくりに取り組める！

第二子、第三子を授かるためには...

経済的な不安を解消

- ・保育料や医療費の免除など、育児にかかる経済的負担を軽くする
- ・第三子からはさらに経済的負担を軽くする必要がある

子育ての不安を解消

- ・第一子のときにサポートがあると、「2人目も」と思える
- ・2人目からは家族や地域のサポートがより必要となる、企業内での出産・育児への理解

そこで…



こうかで 1 more baby プロジェクト ～こうのと「な」りさくせん～

ここに 1 more !

・～より早くから子どもとの暮らしを考える人を増やしたい。今は知らない子どもたち、今は考えない大人たちに。1 more !～

うきうき 1 more !

・～甲賀で住み、産み育てる人を1人でも増やすため、出会いの場を増やしたい。1 more !～

のびのび 1 more !

・～小さな子どもたちやその親がのびのびと過ごせる空間を増やしたい。1 more !～

となりに 1 more !

・～子育て世代のとなりにもう1人の支援者、もう1人の子どもを増やしたい。1 more !～

ここに 1 more !

子育て色でアピール！
ホームページ

バイト

乳幼児ふれあい事業
(中学生・高校生対象)

重点！

アウトドア

ゲーム

こども

結婚

若手社会人向け
ライフプランセミナー

うきうき 1 more !

忍者の里こうかde
婚活ツアーア事業

(仮)鉄ちゃん・鉄子あつまれ

重点！



地域主導の婚活促進事業

(仮)こうかに住も課

のびのび 1 more !

水口文化ゾーン再編事業

図書館に「出産・育児支援
コーナー」の設置

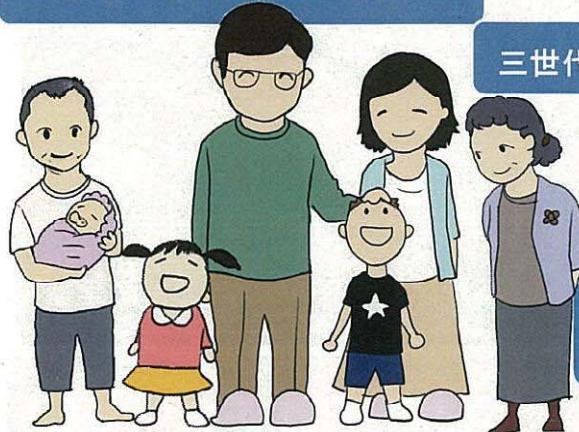
重点！



赤ちゃんにやさしい公共施設の整備

となりに 1 more !

子ども会・自治振興会への支援



三世代同居(近居)促進事業

重点!

第3子保育料・
給食費の無料化

提案事業一覧

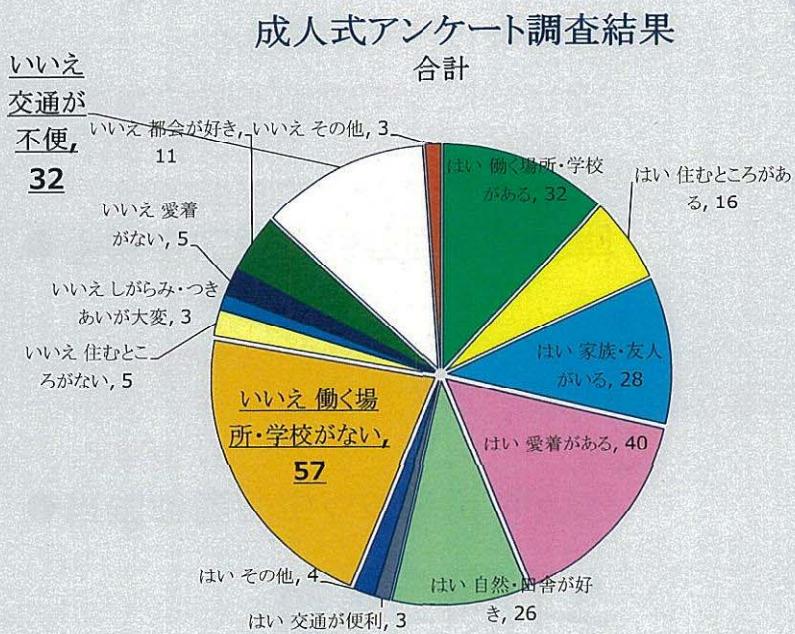
- 子育て色でアピール！ホームページ
- 乳幼児ふれあい事業(中学生・高校生対象)
- 若手社会人向けライフプランセミナー
- 忍者の里こうかde婚活ツアー事業
- 鉄ちゃん鉄子さん集まれ！(婚活交流会の開催)
- 地域主導の婚活促進事業
- 『こうかに住も課』の設置
- 水口文化ゾーン再編事業
- 図書館に「出産・育児支援コーナー」の設置
- 赤ちゃんにやさしい公共施設の整備
- 子ども会・自治振興会への支援
- 三世代同居(近居)促進事業
- 第3子保育料・給食費の無料

事業提案報告

甲賀の國づくりプロジェクト

定住促進チーム

奥山・中村・中島・小島・桑山・白敷・前田



甲賀市の現状と課題

なぜ甲賀市に移住しないのか

なぜ甲賀市から出ていくのか



成人式でのアンケート調査



アンケート調査から見えた課題

①仕事がない
(就きたい仕事がない)

②公共交通機関が不便

③甲賀市の魅力が発信しきれていない

提案に向けて

◆京都府綾部市への先進地視察

- ・全職員の意識の高さ
- ・行政、地域それが「人口減少」について考える
- ・既存事業を最大限活用

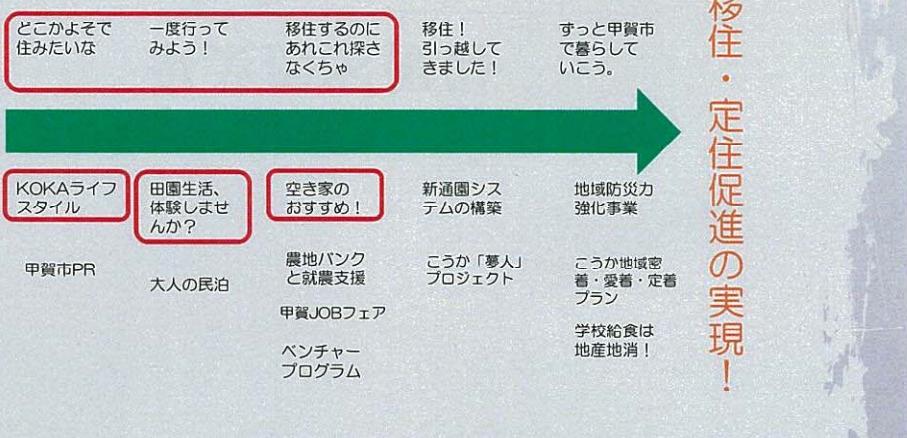
◆甲賀市における方向性の検討

- ・今ある施策を最大限活用
- ・持続可能な移住・定住施策の構築
(安易に補助金や交付金を交付しない)

事業提案

目標：『「移・属・入」満足度No.1のまちづくり』

目標を達成するためのストーリー性のある事業提案



人口減少対策の方向性

目標：「移・属・入」満足度No.1のまちづくり

「甲賀市外から移住し、地域コミュニティと縁を結び、
地域コミュニティに溶け込み、甲賀市民として生活していく」
その一連を支援する。

方向性のキーワード

「雇用」「地域」「住居」「農業」「防災」「教育」
「職員」「甲賀市をPR」

「交通」と「福祉」も重要なキーワードですが、他チームとの重複提案を避けるため、提案しないこととします。

提案事業一覧

- KOKAライフスタイル(情報発信)
- 田園生活、体験しませんか？
- 空き家の活用支援
- 甲賀市教育改革 「あいこうか人」育成プロジェクト
- 空き農地バンクと新規就農者の獲得
- 甲賀JOBフェアの実施拡大
- 甲賀市PR事業「知って！来て！見て！甲賀の魅力を日本の果てまで」
- おいしく食べて元気に育つ
- 甲賀市地域密着・愛着・定着プラン
- 安全・安心まちづくり～事故・犯罪のないまちをめざして～
- 甲賀の國創生ベンチャープログラム
- オトナミンパターKOKAスタイル体験プラン
- 全域への保育園通園システムの構築

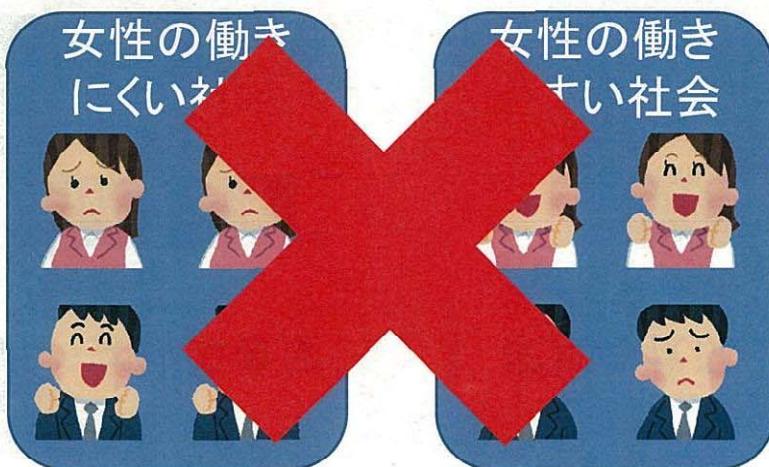
人口減少問題に立ち向かうために 女性のライフステージに応じた 切れ目のない支援を！！

甲賀の國づくりプロジェクト
女性の活躍推進チーム

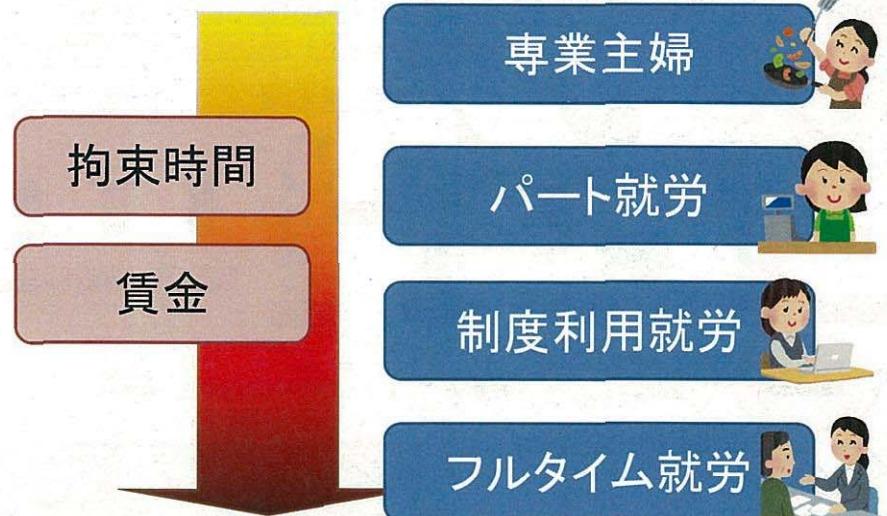
寺田・森地・川上・桑野・吉川・櫻野・植西



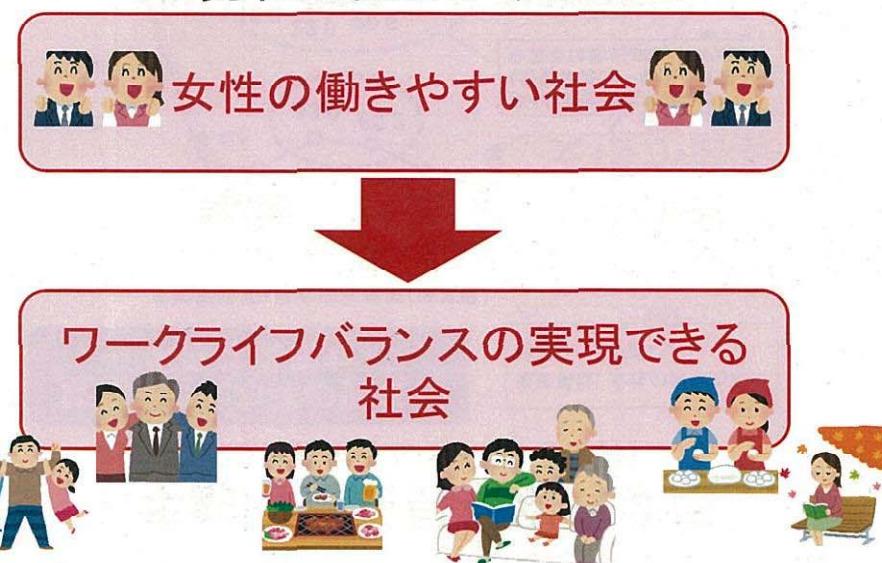
女性の働きやすさ＝男性に不利？



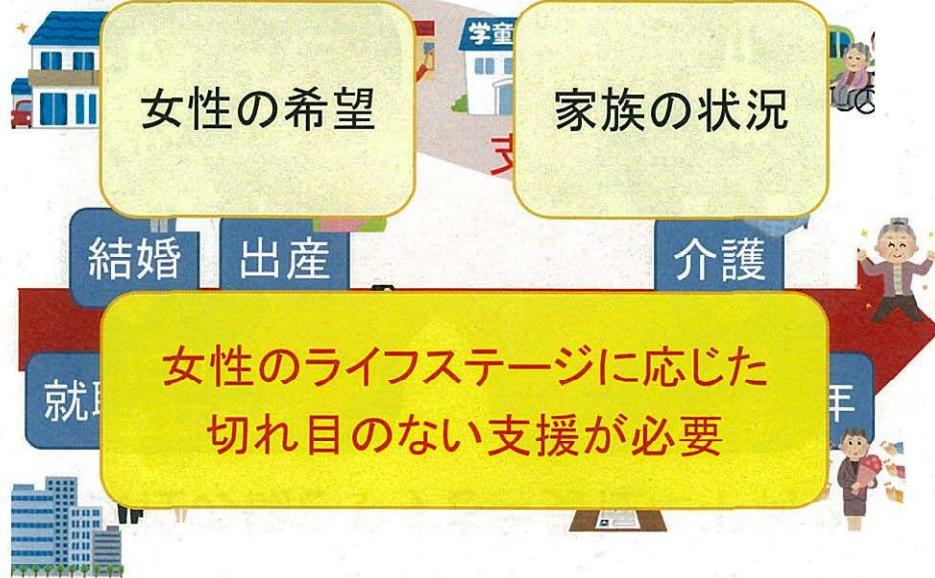
女性の“働き方”って…？



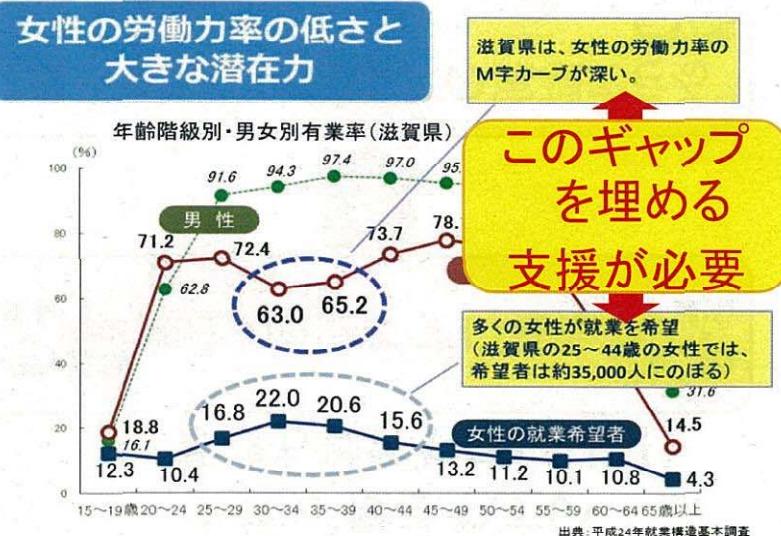
女性が働きやすい ＝男性も働きやすい！！



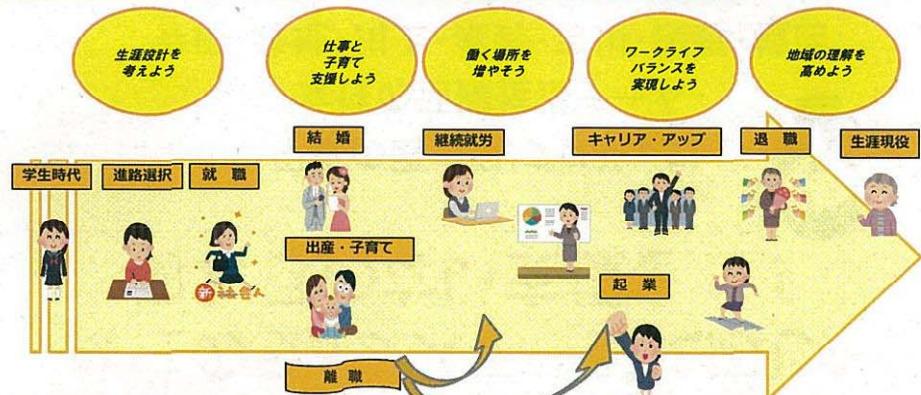
女性が働きやすいとは？？



年齢階層別男女別有業率 (滋賀県ホームページから抜粋)



女性のライフステージに応じた切れ目のない支援



「将来の夢を見つけよう」
新卒者

「嫁に来ませんか」

「仕事を続けてもらおう」

女性のライフステージに応じた切れ目のない支援



- ★「将来の夢を見つけよう」プロジェクト ★
- ★「嫁に来ませんか」プロジェクト ★
- ★「仕事を続けてもらおう」プロジェクト ★
- 新卒者JOBフェアに出展
- 25歳成人式計画
- 企業に対するモデル事例の確立
- 企業トップの意識改革
- 高齢者が活躍できる環境づくり
- スキルの貯金
- マザーズ就労応援デスク
- 女性向け起業セミナー
- 保育士確保と質向上
- 病児保育・24時間保育
- 保育コンシェルジュ・相談窓口・子育てアプリ
- 市役所における取組
- やめる事業宣言
- 育休研修
- 新しいJOBロードーション
- 家庭における仕事の宣言
- スケジュール管理

提案事業一覧

- 「将来の夢を見つけよう」プロジェクト ○育休研修
- 「婚に来ませんか」プロジェクト ○女性職員のスキルアップに繋がる新しいJOBローテーション
- 「仕事を続けてもらおう」プロジェクト ○家庭や地域等における「仕事宣言」
- スキルの貯金(資格取得の助成制度) ○スケジュール管理(計画的事業の推進)
- 25歳成人式計画
- 新卒者JOBフェアに出展(市内就業のメリット)
- マザーズ就労応援デスク(甲賀市版マザースジョブカフェ)
- 女性向け起業セミナー
- 保育コンシェルジュ・相談窓口・子育てアプリ
- 病児保育事業
- 24時間保育事業
- 保育士確保と資質向上
- 企業に対するモデル事業の確立
- (女性の)高齢者が活躍できる環境づくり
- 企業トップの意識改革
- やめる事業宣言(事業の整理)

地域で支えあい、高齢者も生きがいを持つて暮らせる甲賀市を目指して

2025年問題プロジェクトチーム

平尾・辻・嶋本・北林・岩倉・上田・吉川・米倉

その結果、

公的福祉制度だけでは支えきれなくなり、一方では、家庭や地域の力もますます低下し、地域の支え合い機能そのものの維持が困難となることが懸念される。

1. 高齢化の現状と課題

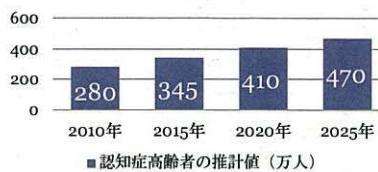
①2025年に向けての共通的な課題

2025年問題は何が問題か？

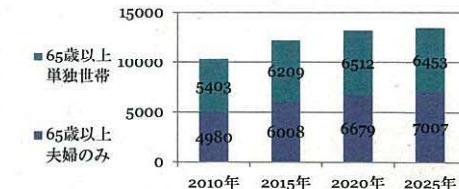
○今後、いわゆる「団塊の世代」が75歳以上となり、急激に後期高齢者の絶対数が増加する。

	2012年8月	2015年	2025年	2055年
65歳以上人口（%）	3,058万人（24.0%）	3,395万人（26.8%）	3,657万人（30.3%）	3,626万人（39.4%）
75歳以上人口（%）	1,511万人（11.8%）	1,646万人（13.0%）	2,179万人（18.1%）	2,401万人（26.1%）

○認知症高齢者の増加



○単身・高齢夫婦のみ世帯の増加



○高齢者は今後、都市部で顕著に増加→福祉人材も給料水準の高い都市部に集中

75歳以上人口	埼玉県	千葉県	神奈川県	大阪府	愛知県	東京都	全国
2010年	58.9万人	56.3万人	79.4万人	84.3万人	66.0万人	123.4万人	1419.4万人
2025年	117.7万人 (2.00倍)	108.2万人 (1.92倍)	148.5万人 (1.87倍)	152.8万人 (1.81倍)	116.6万人 (1.77倍)	197.7万人 (1.60倍)	2178.6万人 (1.53倍)

1. 高齢化の現状と課題

②高齢者の居場所・活躍の場が無い

団塊の世代以降のこれから高齢者となる層

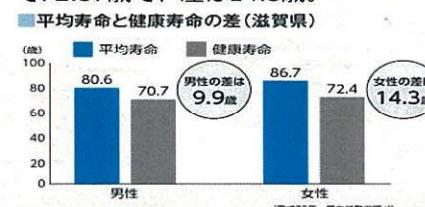
(特徴)

- ・サラリーマン化が進んでいて、昼間地域にいなかつた。
 - ・移住者の割合も高い。
 - ・社会貢献したいという意欲はある。
- (課題)

- ①地域社会との関わりが薄くなつており、自宅以外の居場所がない。
- ②地域に高齢者が活躍できるような場所がない。
- ③地域のボランティア活動はあるが、担い手が少なく、継続が困難。

③平均寿命と健康寿命のかい離

滋賀県の健康寿命は男性70・67歳で全国18位、女性は72・37歳で全国最低
男性の平均寿命は80.6歳で、健康寿命との差は9.9歳。女性は86.7歳に対し
72.37歳で、差は14.3歳。



→平均寿命と健康寿命の差が大きければ、治療や介護にかかる期間が長くなり、家族や社会の負担も大きくなる。

2. 基本方針

高齢化の課題に立ち向かうための基本方針

①地域が一体となって高齢者を支える「地域包括ケアシステム」を構築する。

地域包括ケアシステム構築には、**発想の転換が必要**

- 地域包括ケアシステム構築 = 介護保険や福祉政策を超えた地域コミュニティ政策
- 高齢者が増加する（悪いイメージ） = 高齢者関連のサービスの需要が増える（チャンスと捉える）
 - 公的福祉サービスでまかえない生活支援サービスを地域の産業として確立できれば、雇用は増え地域内経済を活性化できる。

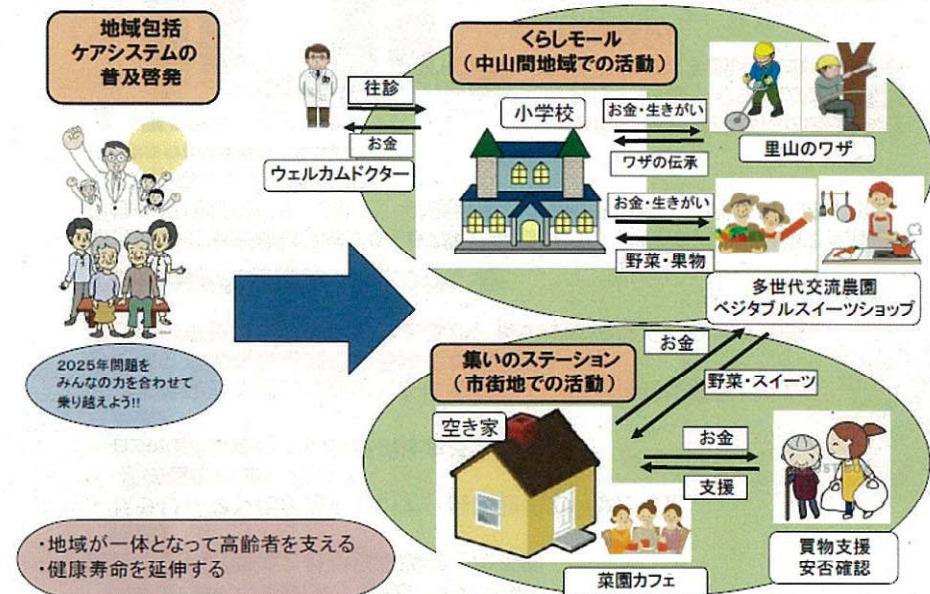
②地域毎に拠点（＝居場所）をつくり、高齢者に生きがいを持つてもらい、健康寿命の延伸につなげる。

- 元気高齢者の居場所・活躍できる機会をつくる。
 - 生きがい・社会での役割をもってもらうことで、介護や医療にかかる時期を遅らせ、健康寿命を延伸させる。

③地域の課題を高齢者が対価を得られる生業（なりわい）・小商に変えていく。

- ボランティアではなく、助け合いに対価を得られる仕組みづくり

3. 甲賀市が目指す姿



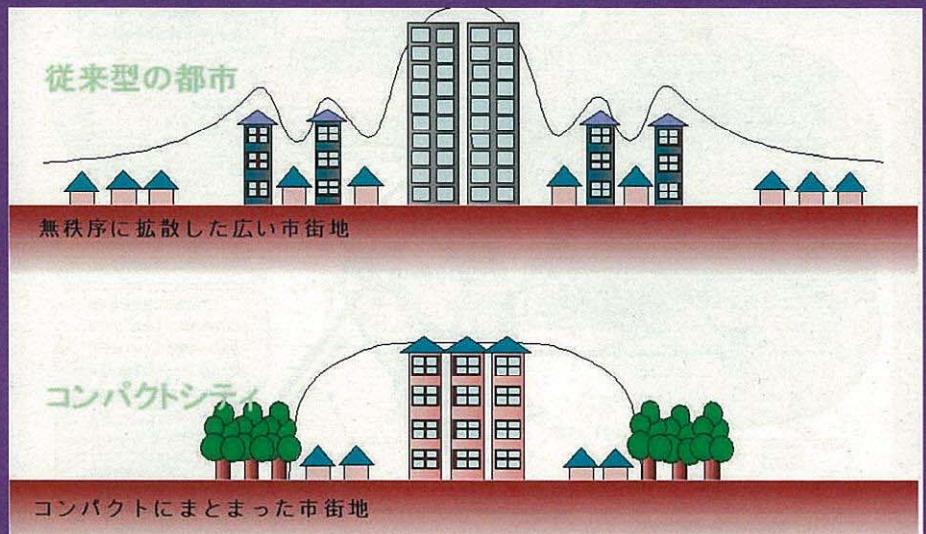
提案事業一覧

- 甲賀忍法ささえ愛の術を広め隊(地域包括ケアシステムの普及啓発)
- ニンニン暮らしモール(多機能複合施設)
- ニンニン集いのステーション(小さな拠点づくり)
- あいコムこうかTV番組「私の地域自慢」
- 在宅医療・介護人材ステーション
- 空き診療所の再利用(ウェルカムドクター)
- 思わず歩きたくなる街づくり「こうか歩こうプロジェクト」
- 40歳からの健康づくりポイント制度
- シニアの力 発見塾
- 下校のおむかえサポート事業
- 多世代交流農園とかふかベジタブルスイーツショップ

甲賀の國づくりプロジェクト “選ばれる”まちづくり

商工政策課	松本
農業振興課	土城
情報基盤整備室	山本
甲南第1地域市民センター	方山
みなくち子どもの森	河瀬
都市計画課	小谷
保険年金課	林口

コンパクトシティのイメージ

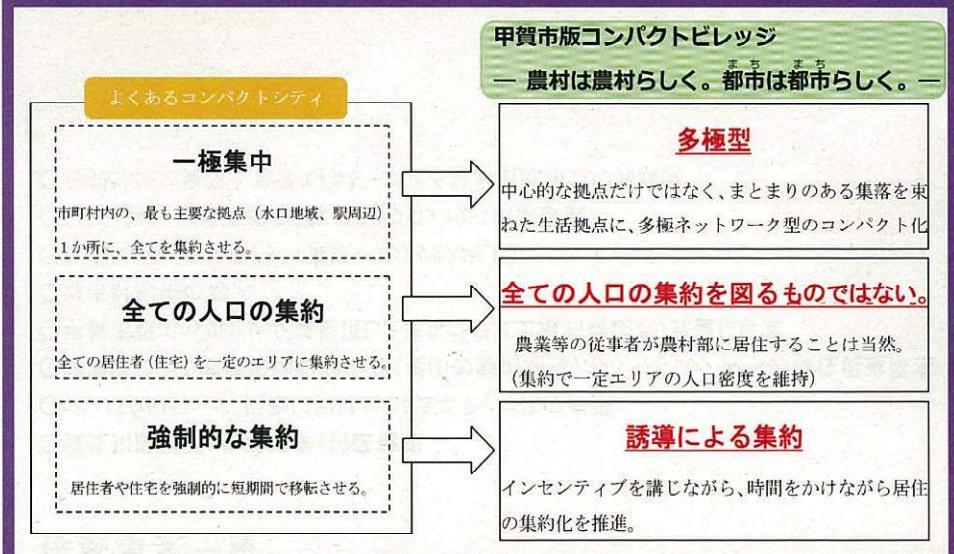


現状と課題

「選ばれるまち」

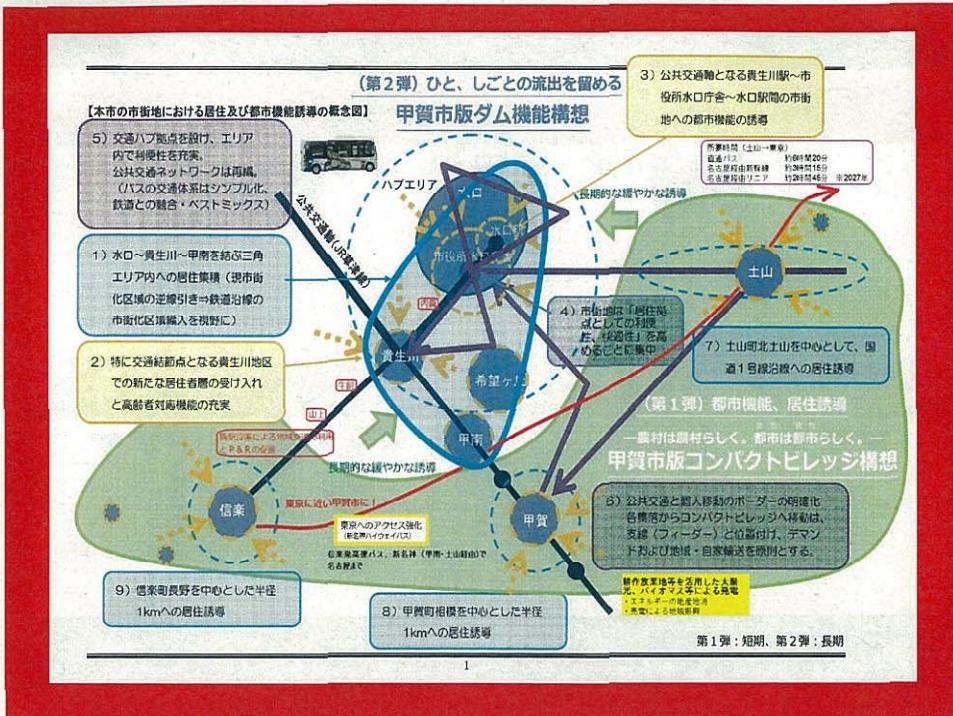
- ・広い市域、多様な地域性、幅広い産業
 - ・持続可能な地域
- ↓
- 人口ダム機能とコンパクトシティーの形成

甲賀市版コンパクトビレッジ



提案事業一覧

- 貴生川駅周辺・生活感幸・特区構想
- コンパクトビレッジ構築に向けたコミュニティバスの再編
- 非農家による放棄農地の利活用(里山の魅力増進)コンパクトビレッジ内への移住促進事業
- 甲賀市版コンパクトビレッジを目指したまちづくり(土地利用規制)見直し事業
- 都市計画税の導入
- 東京に近いまちづくり(東京へのアクセス向上)
- 近江鉄道、信楽高原鐵道LRT化プロジェクト(新駅設置)
- 農村地域で発電！自然エネルギーによる電力自給率100%事業



人口減少時代の自治体経営について

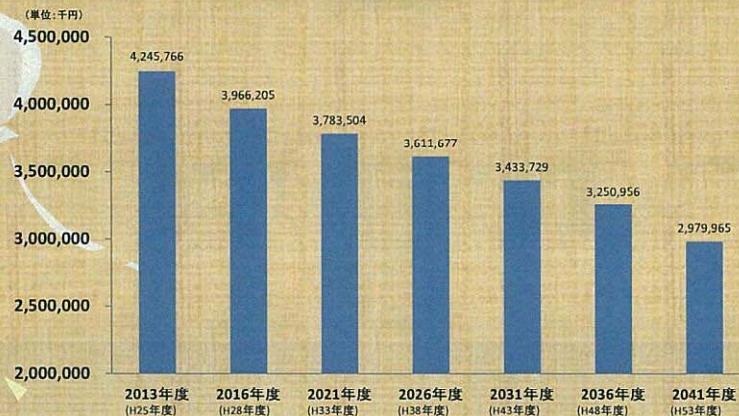
プロジェクトチーム 持続可能な自治体経営

メンバー

村田浩司 中辻幸代 築島照和 久保重徳
林 佳世 大石 誠 谷口宏兵

持続可能な自治体経営 <幸福度の追求>

生産年齢人口の増減見込みから算出した個人
市民税の予測シミュレーション



持続可能な自治体経営 <幸福度の追求>

現状と課題

- ・産業構造の変化により、社会のあり方、人々の意識に変化
- ・「量」から「質」、「ハード」から「ソフト」へ 心の豊かさ
- ・人口減少社会、条件等の見直し。自治体経営はまさに大きな転換期
- ・人口と税収の減少を前提に 少子高齢社会が必要とする多様で高度化する市民ニーズへの対応

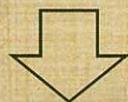
持続可能な自治体経営 <幸福度の追求>

甲賀市の特性(そこそこ感)

- ・新名神高速道路
- ・卸売業・小売業、製造業、建設業
- ・流出労働者人口、15歳以上の就業者約30%は市外へ
- ・信楽焼き・甲賀流忍者・甲賀の薬・茶
- ・一定のほどよいコミュニティ
- ・就業割合第1次産業3.8%、第2次産業39.4%、第3次産業52.6%

持続可能な自治体経営 <幸福度の追求>

甲賀市は都会? OR 田舎? → 都会ではない。しかし、とてもない田舎でもない
ならば、



都会のように便利でなくても、人のつながりを大切に、無駄なものを求めず、シンプルでも満ち足りた暮らしを
営むことが真の幸せ

としたうえで、

1. 市役所(行政)の改革
 - ・仕事の進め方
 - ・行政サービス

2. 地域・市民の改革
 - ・公共サービスの消費者から当事者へ
 - ・社会貢献等により幸福度の向上

協働

コミュニティ
ビジネスの
創生

持続可能な
地域経済

持続可能な自治体経営 <幸福度の追求>

テーマ

「あるものを活かす! ないものはない!!!」

手法・手段

手法・手段

手法・手段

手法・手段

明確なビジョン!!

持続可能な自治体経営 <幸福度の追求>

・自治とは何か? 市民一人ひとりからの出発。「私はどうしたいか」⇒ベースはその想い。幸せになることが目標、そのための手法。

・人口減少。今の社会の仕組みは人口が増えることを前提としたもの。発想の転換、これまでの仕組みを変えること。

・自分たちの力で、これをやりたい。創意工夫が生まれる。

提案事業一覧

- 公開による公共施設評価の実施
- 市民サービス向上にオープンデータの活用を
- サービスエリアを活用した「甲賀野菜」の振興
- 地域情報基盤の活用
- 補助金制度の見直し事業
- 証明書発行窓口・図書館での市場化テストの導入